FANCL

理想のクレンジングを追求。

株主のみなさまへ

第34期中間報告書

平成25年4月1日～平成25年9月30日

決算のご報告

当中間期（平成25年4月～平成25年9月）のファンケルグループの連結決算について、ご説明申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、リブランディングに伴う大規模なプロモーションを展開していた前年同期の反動や、エステ事業を営む連結子会社の株式会社ノイエスの株式を当第1四半期連結累計期間末に当企業集団外へ譲渡したことなどにより減収となり、全体では38,752百万円（前年同期比4.6%減）となりました。営業利益は、マーケティング費用が前年同期に比べて減少したものの、売上高の減少により売上総利益が減少し710百万円（前年同期比15.6%減）となりました。経常利益は、前年同期に子会社の再編に伴う受取配当金の計上があったことなどにより937百万円（前年同期比14.5%減）となりました。特別損失として、台湾およびシンガポールの小売事業からの撤退ならびに台湾現地法人の解散を決定したことに伴う事業撤退損891百万円を計上したことなどにより、四半期純損失は537百万円（前年同期は648百万円の四半期純利益）となりました。

事業概況

ファンケル化粧品は、平成25年6月20日にリニューアル新発売した「洗顔パウダー」が好調に推移したほか、限定製品の発売により売上の下支えを図りましたが、前年のリブランディングに伴う大規模なプロモーションを展開していた反動により、売上は減少しました。アテニア化粧品は、売上は前年並みとなりましたが、通信販売の新規のお客さま数は前年同期比8.1%増と堅調に推移しております。以上の結果、化粧品関連事業の売上高は21,741百万円（前年同期比4.0%減）となりました。

栄養補助食品関連事業は、ダイエットサプリメント「カロリミット®」が好調なものの、その他の製品が振るわず、売上高は12,812百万円（前年同期比2.8%減）となりました。

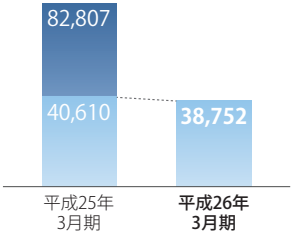
発芽米事業は、卸販売他は堅調だったものの、通信販売が振るいませんでした。青汁事業は、「本搾り青汁 大豆プラス」が堅調だったものの、その他製品が振るいませんでした。その他の事業は、エステ事業を営む連結子会社の株式会社ノイエスの株式を当企業集団外へ譲渡したことなどにより、減収となりました。以上の結果、発芽米・青汁事業等の売上高は4,197百万円（前年同期比12.1%減）となりました。

当社の財務状況に関する詳細な情報につきましては、当社ホームページ「企業情報の株主・投資家向け情報」をご覧ください。

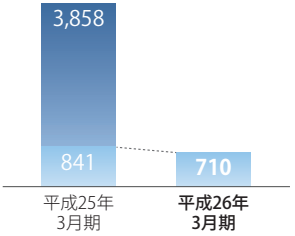
http://www.fancl.jp/company/ir/

連結損益計算書

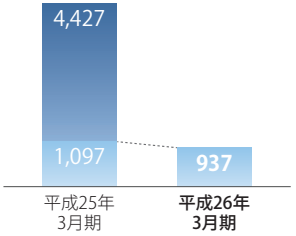
売上高(百万円)　通期　中間期



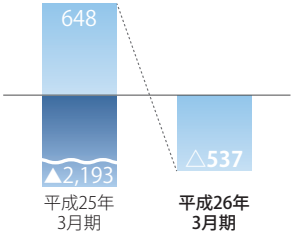
営業利益(百万円)　通期　中間期



経常利益(百万円)　通期　中間期

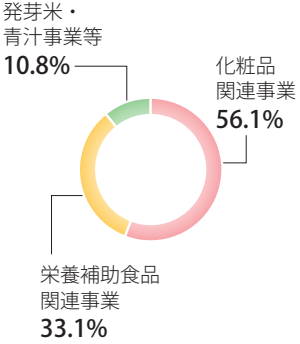


当期純利益(百万円)　通期　中間期



売上高構成比

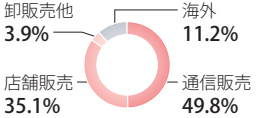
連結売上高　38,752百万円
(前年同期比4.6%減)



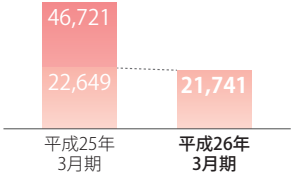
化粧品関連事業

売上高　21,741百万円
(前年同期比4.0%減)

販売チャネル別売上高構成比



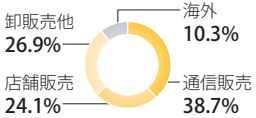
売上高(百万円)　通期　中間期



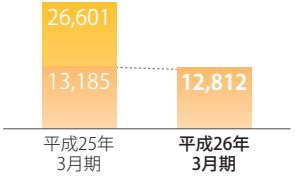
栄養補助食品関連事業

売上高　12,812百万円
(前年同期比2.8%減)

販売チャネル別売上高構成比



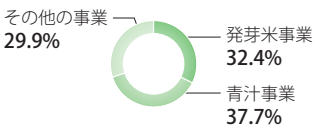
売上高(百万円)　通期　中間期



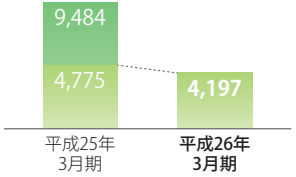
発芽米・青汁事業等

売上高　4,197百万円
(前年同期比12.1%減)

セグメント別売上高構成比



売上高(百万円)　通期　中間期



中期戦略

当社グループは、今一度、当社の原点である「お客さま視点」の徹底を強力に推し進め事業の再成長とグローバル企業への躍進を遂げるため、新経営体制の下、創業の精神に立ち返り、お客さま視点に基づいた「ファンケルらしさ」の経営を実現するという基本方針を掲げ、大改革を実行しております。これまで、エステ事業を営む株式会社ノイエスの譲渡、直営店舗における不採算店の閉鎖、台湾・シンガポールの小売事業からの撤退など不採算事業を徹底的に見直し、赤字部門の整理を行いました。また平成25年6月に人材育成の強化を目的に設立したファンケル大学では、次世代の幹部候補や女性管理職を育成するとともに店舗およびコールセンタースタッフの専門教育に注力しております。さらに、当社の企業姿勢・技術・サービスを結集させた、美と健康をかなえる旗艦店として、平成25年10月20日にファンケル 銀座スクエアをリニューアルオープンし、世界への情報発信とともに世界からの情報収集も行っております。

ビューティ事業戦略

製品戦略 高齢化社会へ向けて、年齢に合わせて変化するお客さまのニーズや美容意識、製品の使いやすさを考慮した新スキンケアラインの開発に取り組んでまいります。

研究技術 最先端の無添加技術を用い、肌の角層を分析し、お客さま一人ひとりの加齢による変化を予測する「角層バイオマーカー測定」を開発し、サービスの提供を開始いたしました。そして、この技術を応用し高機能プレステージブランドとしてパーソナルコスメを開発し、新しいお客さま層の開拓を行ってまいります。

販売戦略 当社は現在、カタログやインターネットによる通信販売、直営店舗販売を中心に展開しておりますが、今後はさらなるお客さま接点の拡大のため、既存製品の技術を活かし、OEM供給や流通向け商品を業界に先駆けて開発してまいります。また、直営店舗やコールセンター窓口に皮膚生理学や美容栄養学などの専門知識をもったビューティカウンセラーを配置し、提案力を強化することで、さらなるお客さま満足の向上に努めてまいります。

下期戦略 平成25年11月20日にベストセラー製品である「マイルドクレンジングオイル」をリニューアル新発売いたしました。集中的にテレビCMを実施するとともに、大規模なサンプリングやSNSと連動したインターネット広告を実施し、新しいお客さまの獲得に努めてまいります。

マイルドクレンジングオイル テレビCM

ヘルス事業戦略

ヘルス事業戦略は、お客さま一人ひとりの生涯にわたる健康づくりを科学的にサポートし、「Good Aging（グッド エイジング）」の実現を目指します。中高年層のお客さま向けのスター製品を育成するとともに成分の配合量ではなく、体にいかに無駄なく効果的に働きかけるかを追求した「体内効率」「体内持続時間」を極めた健康食品を開発してまいります。

中高年層のお客さま向けに独自性のあるスター製品として、発芽玄米からわずか0.02%しか抽出できない希少成分PSG（ピーエスジー）を配合した「発芽米パワーPSG（ピーエスジー）」を平成25年11月20日より中京・東海地区（東海3県：愛知・三重・岐阜）で先行発売いたしました。PSG（ピーエスジー）は、血管を若くしなやかに保ち、血液がスムーズに流れる状態にして血管の詰まりを防ぎ、動脈硬化を予防します。

この「発芽米パワーPSG（ピーエスジー）」は、テレビCMの実施に加え、新聞折り込みチラシや専用サイトを開設して訴求し、お客さまのサポート体制を整えた上で販売を全国に拡大してまいります。

また、国民の約4人に1人が悩みを抱えていると言われている「腰痛」の予防に着目し、「筋肉」「血流」「軟骨」など腰痛を引き起こす根本原因にアプローチする全く新しい業界初のサプリメント「コシラックス」を平成25年9月20日に新発売しました。中高年層のお客さま向けサプリメントとしてスター製品に育成してまいります。

店舗戦略

リニューアルオープンしたファンケル 銀座スクエアは、ショールームとしての機能を強化しつつ、お客さまのご要望にお応えできる化粧品、健康食品の専門店としてビューティショップ・ヘルスハウスを展開しており、それぞれの専門店で得られた情報や経験を蓄積し、順次、全国直営店舗へ展開してまいります。

経営基盤の強化

原材料や資材および製造工程の見直しを行い、原価低減に取り組んでおり、3年後、原価率の5%改善を目指してまいります。

また、有能な研究員を採用し、総合研究所に次ぐ第二研究所の設立を計画しており、研究開発力を強化してまいります。

以上の戦略を確実に実行し、採算性、生産性を重視した経営を徹底して行い、今期を業績の底として来期以降の業績を向上させてまいります。

血管の詰まりを防ぐ“PSG”（ピーエスジー）

先行発売　中京・東海地区（東海3県：愛知・三重・岐阜）の直営店舗および通信販売

「発芽米パワーPSG（ピーエスジー）」

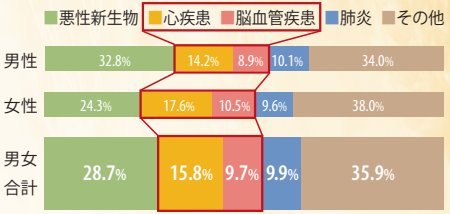
当社の長年にわたる発芽米研究から発見された機能成分「PSG（ピーエスジー）」。これまで体脂肪・中性脂肪を減らす働きがあることが分かっていましたが、この度新たにPSG（ピーエスジー）が血管を若くしなやかに保ち血管の詰まりを防ぎ、サイレントキラーと言われる動脈硬化を予防する働きが実証され、注目を集め始めています。

PSG（ピーエスジー）は、善玉コレステロールとも言われるHDLコレステロールを増やすことで、加齢や生活習慣に伴い硬くなり、その力が低下しがちな血管に弾力性を与え、スムーズに血液が流れる状態にして、動脈硬化を予防します。

発芽米1粒にわずか0.02%しか含まれていない希少成分PSG（ピーエスジー）を、本製品には発芽米茶碗換算で10杯分以上※配合しました。体内効率を高めた処方設計で、年齢にあらがわず前向きに時を重ねていくグッドエイジングを応援します。

※発芽米：白米＝1：2で炊いた場合

平成24年　死因別死亡数の割合



厚生労働省 平成24年人口動態調査

日本人の4人に1人が血管系トラブルにより死亡

高い医療費がかかる血管系疾患

心筋梗塞	195万円
脳梗塞	112万円
脳出血	178万円

全日本病院協会 診療アウトカム評価分析結果

血管系トラブルは経済面も圧迫

医療費の削減と日本人の健康長寿を目指しました。

“詰まらない”こそがグッドエイジングに重要

腰痛の根本原因にアプローチする新発想サプリメント

新発売

「コシラックス」

身体の中心にあり、身体の要を意味する字のごとく、腰は日常生活のなかで大切な場所です。年齢・性別に関係なく、現在腰痛で悩みを抱える方は全国で2,800万人とも言われているなか、腰痛に特化したサプリメントはこれまで存在せず、ビタミンB群やコンドロイチンを配合した医薬品も対症療法でしかなく、多くの方が長年腰痛に悩まされてきました。

当社はこれまで市場になかった腰痛を引き起こす根本原因にアプローチするサプリメントを開発いたしました。腰痛の原因は主に「筋肉」「血流」「軟骨」にあります。運動不足や姿勢の悪さなどの日常生活での負担や、加齢により「重い、固まった」が気になる方に、固まった身体を柔らかくして、正しい姿勢を保つ力をつける新発想のサプリメントです。「こり」「めぐり」「すり減り」に8つの成分を複合配合し、根本原因へアプローチして軽やかな動きを応援、腰痛になりにくい生活習慣をサポートします。

【腰痛に関するアンケート調査結果概要】（対象20代～60代の男女800名）

1．腰痛の原因は、1位「運動不足」、2位「日頃の姿勢」、3位「デスクワーク」
2．腰痛がひどくなると仕事の効率は平均40%低下
3．30代以上の男女66%が10年以上腰痛で悩んでいる
4．日頃から腰痛対策をしている人は80%
5．腰痛の悩みから解放されるなら、いくら払う？　平均207万円

※「ファンケル調べ」

▼主な原因		▼配合成分
身体のゆがみによる筋肉のこり	←	正しい姿勢を保つ力に着目した**「クレアチン」**
ストレス・血行不良	←	‘めぐり’と‘ほぐし’をサポートする**「ヒハツ」**と**「テアニン」**
加齢による軟骨減少	←	なめらかな動きのために、年齢とともに失われる**「プロテオグリカン」**を補充

開発者の声

痛みがひどくなってから治療する人も多く見られますが、本来はめぐりをよくし、姿勢を維持できる身体を保つことが重要です。根本原因に働きかけ、腰痛の悪いサイクルを断ち切るサプリメントです。

落ちにくいメイクも こすらずに すっきり落とす！

リニューアル

「マイルドクレンジングオイル」

発売以来、ロングセラー・ベストセラー製品としてお客さまに愛され続けている「マイルドクレンジングオイル」がさらに進化しました。毎日の洗顔で肌をこすると、肌ストレスが蓄積され、将来の乾燥や小ジワなど肌悩みの原因に。無添加はそのままに、新たに肌ストレスを極力なくす「アンチストレスケア」という発想により処方を改良し、これまで以上にこすることなく、「高いクレンジング力」と「うるおい保持力」を両立させました。

1 「するんとオフオイル」新配合で、抜群のクレンジング力とこすらずのばせるテクスチャーを実現

2 角層のうるおいをしっかり保ち、肌のバリア機能もキープ！

3 「角栓クリアオイル」新配合で、角栓や黒ずみなど毛穴汚れの除去機能をアップ！

トピックス

東日本大震災 被災地支援活動

●「かながわ避難者支援会議」メンバーに

当社は、東日本大震災直後から義援金や支援物資の提供を行い、今日にいたるまで従業員が被災地を訪問し、メイクサービスやハンドマッサージ・青汁の提供などの被災地支援活動を続けています。これらの当社が行ってきた継続的な支援が評価され、神奈川県が県内に避難している東日本大震災の被災者への効果的な支援を目的に、民間支援団体や行政で構成する「かながわ避難者支援会議」のメンバーに県内唯一の民間企業として選任されました。今後、神奈川県主催の避難者相談会に協力していくほか、民間企業の立場を活かしたさまざまなサービスを展開して、避難されている方々をサポートしてまいります。

ハンドマッサージの様子

5月15日開催の第1回会合

●株主優待制度による「東日本大震災 被災地への寄付」

一昨年、昨年に引き続き、当社の株主優待制度において、903名の株主さまに被災地への寄付をお申し込みいただきました。集まった寄付金（1,702,500円）は、日本赤十字社を通じて被災地復興支援に役立てられます。

多くの皆さまよりあたたかいご厚意を賜り、心より感謝申し上げます。

特集

美と健康の最先端サイエンスを体感

ファンケル 銀座スクエアが全館リニューアル

Science Health Beauty Organic

ファンケルの企業姿勢・技術・サービスを結集させた、美と健康をかなえるフラッグシップショップとして10年前に誕生した「ファンケル 銀座スクエア」が、平成25年10月20日に全館リニューアルオープンいたしました。新しいフロア構成は、美容に関する「ビューティエリア（3F～5F）」、健康に関連する「ヘルスエリア（6F～8F）」に分かれ、それぞれショップとカウンセリング機能を強化しています。総合研究所直轄となる新設の「サイエンスエリア（5F・8F）」では、ファンケルの美と健康の最新技術をご体験いただけます。スクエアのシンボルである女神の巨大壁画や高さ10mの滝、屋上庭園が、心安らぐ特別な店舗空間を彩り、世界中のお客さまをお迎えいたします。

2F 壁画ギャラリー＆ロイヤルラウンジ
田村能里子画伯 作「FUN-FUN」（縦4m～横11m）

9F

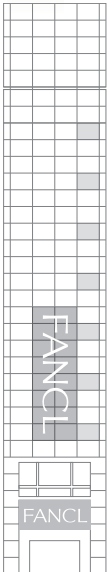
B1F

FLOOR GUIDE
フロアガイド

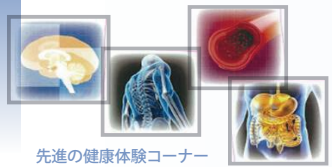
- 9F レストラン ぎんざ 泥武士
- 8F ファンケル 予防医療ミュージアム
- 7F ファンケル ヘルスハウス ～パーソナルカウンセリング～
- 6F ファンケル ヘルスハウス
- 5F ファンケル 未来肌研究室
- 4F ファンケル ビューティショップ ～パーソナルカウンセリング～
- 3F ファンケル ビューティショップ
- 2F 壁画ギャラリー＆ロイヤルラウンジ
- 1F エントランス＆ファンケル ショップ（3ヵ国語対応）
- B1F 泥武士 キッチン

ヘルス
ビューティ

■東京都中央区銀座5-8-16　Tel. 03-5537-0231（代表）



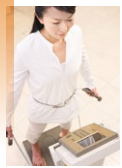
8F Science ファンケル 予防医療ミュージアム



先進の健康体験コーナー

健康づくりのための情報や、病気予防に向けた栄養摂取の必要性をファンケルの研究を通じて気軽に楽しく知ることができる体験型フロア。身体の仕組みや疾病状態の展示や、健康ドリンクコーナーもあります。

7F Health ファンケル ヘルスハウス ～パーソナルカウンセリング～



糖化測定

体バランス測定

高度な専門知識を持つカウンセラーによるカウンセリングフロア。最先端の機器を使用したさまざまな測定を通じて、健康カウンセラーがグッドエイジングへのベストプランをご提案いたします。

5F Science ファンケル 未来肌研究室

角層バイオ
マーカー測定

無添加サイエンスの最新技術を知覚的、体感的に経験できる最先端技術体感フロア。当社研究員がお客さまのお悩みに直接お答えいたします。独自開発した「角層バイオマーカー測定」や「ビューティアップO_2（酸素）ルーム」があります。

4F Beauty ファンケル ビューティショップ ～パーソナルカウンセリング～

肌悩み別
アドバイス
コーナー

先進の肌解析機器で肌状態をより詳しく解析し、パーソナルなアドバイスが受けられるカウンセリングショップ。メイクアドバイスのほか素肌純度や3D全顔チェックなど美しさへの最短距離をご提案いたします。

会社情報（平成25年9月30日現在）

会社概要

会社名	株式会社ファンケル
英文名	FANCL CORPORATION
本店所在地	横浜市中区山下町89-1
電話番号	045-226-1200（代表）
設立	昭和56年8月
資本金	10,795百万円
従業員数	733名（臨時従業員は除く）
主な取引銀行	三菱東京UFJ銀行 みずほ銀行 三井住友銀行

役員

代表取締役 会長執行役員……池森 賢二
代表取締役 社長執行役員……宮島 和美
代表取締役 副社長執行役員…田多井 毅
取締役 専務執行役員……山岡 美奈子
取締役 常務執行役員……島田 和幸
取締役 常務執行役員……村上 晴紀
取締役 執行役員……鶴﨑 亨
取締役 執行役員……炭田 康史
取締役 執行役員……重松 典宏
取締役 執行役員……保坂 嘉久
取締役……柳澤 昭弘
取締役……須釜 憲一
取締役……猪俣 元
取締役……池田 憲人
常勤監査役……髙橋 誠一郎
常勤監査役……飯田 順二
監査役……小関 勝紀
監査役……髙野 利雄

（注）1. 取締役の池田憲人氏は、社外取締役であります。
2. 監査役の小関勝紀および髙野利雄の両氏は、社外監査役であります。

連結子会社一覧

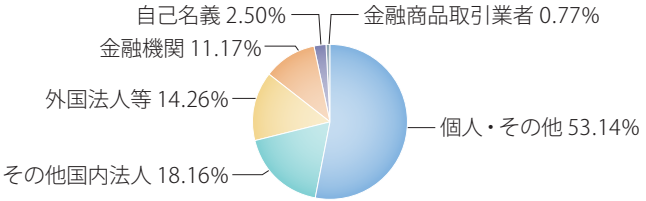
会社名	住所	資本金	設立	当社の出資比率	事業内容
（株）アテニア	横浜市栄区	150百万円	平成 元年 2月	100.0%	化粧品・栄養補助食品等の販売
（株）ファンケル発芽玄米	長野県東御市	95百万円	平成11年 8月	71.6%	発芽米の製造・販売
FANCL ASIA (PTE) LTD	シンガポール	875百万円	平成12年 3月	100.0%	化粧品・栄養補助食品の販売
（株）ファンケル美健	横浜市栄区	100百万円	平成14年10月	100.0%	化粧品・栄養補助食品の製造
ニコスタービューテック（株）	横浜市栄区	10百万円	平成20年 7月	100.0%	化粧品・医薬部外品の製造

株式情報（平成25年9月30日現在）

株式の状況

証券コード	4921（東証1部）
発行可能株式総数	233,838,000株
発行済株式の総数	65,176,600株
株主数	82,548名

所有者別株式数の状況



株主メモ

事業年度	4月1日～3月31日
定時株主総会	毎年6月
配当金支払 株主確定日	期末：3月31日 中間：9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部
郵便物送付先 および 電話照会先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 0120-232-711（フリーダイヤル）

【ご注意】

1. 株主さまの住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることになっております。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行株式会社）ではお取扱いできませんので、ご注意ください。
2. 特別口座に記載された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関であるみずほ信託銀行株式会社にお問合せください。株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社ではお手続きできませんのでご注意ください。

特別口座の 口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
郵便物送付先 および 電話照会先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社　証券代行部 0120-288-324（フリーダイヤル）

「源泉徴収税率」変更のご案内

平成26年1月1日以降に支払いを受ける、上場株式の配当金には、復興特別所得税を含め、20.315%の源泉徴収税率が適用になります。

※源泉徴収が行われる場合の税率です。ただし、内国法人の場合は住民税が徴収されません。

平成25年12月31日まで	平成26年1月1日から
10.147% 所得税（含む復興特別所得税）7.147% 住民税3%	**20.315%** **所得税（含む復興特別所得税）15.315%** **住民税5%**

FANCL

株式会社ファンケル

横浜市中区山下町89-1 〒231-8528
Tel. 045-226-1200（代表）
www.fancl.jp
当社に関する情報についてはホームページでもご覧いただけます。

この報告書は、FSC® 森林認証取得用紙と植物油インキを使用し、環境にやさしい「水なし印刷」で印刷しています。